

家族でニコニコチャレンジ②取り組みの様子



令和5年11月～12月実施

● 基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！ ●

「家族でニコニコチャレンジ」の第2回目の取り組みについて、ご報告をいただきました。

今回は、就学を意識して目標を設定し、「身の回りの片づけ」「早寝、早起き」に取り組む子が増えました。また、「テレビ・動画視聴・ゲーム等使用のルール」は、今回も意識して取り組んだ子が多い項目でした。家族チャレンジャーの取り組みは「ふれあいタイム」が1回目と同様に多く、お子さんとのコミュニケーションを大切にしようとしていることが感じられました。動画やゲーム、スマホ使用等のルールに取り組むことで、ふれあいの時間を増やすことができた家庭もあったようです。

目標をもち、チャレンジして、「できた！」という経験を重ねることで、自信をもち、また新たなことに挑戦しようとする心が育まれていきます。家族や園の先生方に見守られ、温かい励ましを受けながら、ぐんぐん成長している子ども達の様子が感じられた2回目のチャレンジでした。

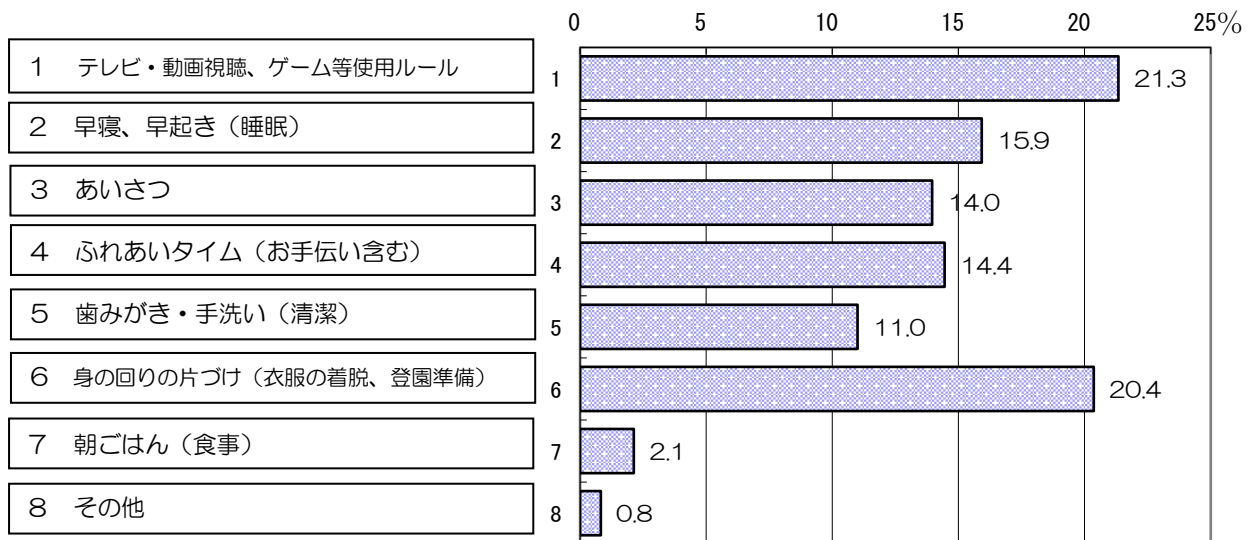
ご協力ありがとうございました。

<取り組み状況>

集計協力園／年長児在園 44園／44園

回収率…91.3% (提出者数／配布者数)

取り組み項目の選択状況



家族チャレンジャーの取り組み状況

※ 複数回答含む

家族チャレンジャーとして取り組んだ方の内訳

父	母	兄	姉	弟	妹	祖父	祖母	その他	なし
125人	411人	29人	27人	7人	5人	0人	2人	4人	5人

※家族全員で取り組んだ家庭もありました

家族チャレンジャーの取り組み項目の選択状況 ※5歳児の項目と同じ

取組項目番号	1	2	3	4	5	6	7	8
人数 (人)	76	86	87	247	37	49	7	14
割合 (%)	12.6	14.3	14.4	41.0	6.1	8.1	1.2	2.3

保護者からの感想等

《子どもの様子に関わる感想》

自分から進んで「何時までね!」「1時間経ったら教えてね!」と積極的に取り組んでいて成長を感じました!

どうしてもあれこれ言いたくなることはありますが、本人なりにいろいろ考えてやっていることも感じられました。

小学校に行く前に朝の身支度を習慣化できるようになればと思い取り組みました。朝、自分で顔を洗うと気持ちもシャキッとするようで、朝も気持ちよく登園したような感じでした。

伝える力がとても上手になっていることに改めて成長を感じられる機会になった。

《家族の関わり方に関わる感想》

今後もいろいろな事にチャレンジして、「できた!」の機会を増やしてあげたい。

こちら(親)からの声掛けがなくても、自分でやろうとする自主性が養われたと感じます。自分で気が付いたことを褒めてあげると、ますますやる気を出しているなと思いました。

一緒にニコニコチャレンジをすることをとっても楽しみにしていて、もっと子どもたちとの時間を大切にしたいと思いました。やりたいこと、興味があること、できるようになったことなど知ることでもできたので、毎回少しでも向き合う時間を作れるように心がけていきたいです。

自分で目標を決めてやり遂げる事は子どもにとって、とても重要だと感じました。

園からの感想等

就学を前に”自分でやってみる”を意識した取り組みが多かったように思います。お手伝いを一緒に行いながら、身の回りのやり方を覚え、自信が持てるようになる、時計の数字を意識することで自分で気付き行動する等、夏の時期とは違った子どもの姿が感じられました。

忙しい日々の中で、ニコニコチャレンジを通して、親子での関わりが密になっていることを感じてとても嬉しい。

やりきれたことで自信につながった子どももいました。

今回の取り組み結果と次年度の取り組みに向け

☆ 今年度の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- ・親子で話し合い継続していけるきっかけになると思います。来年度も楽しくチャレンジしてほしいと思います。・各家庭での課題や目標にしている項目が多く、共通しているものが多かったです。親同士も同じ悩みを共有し合うきっかけにもなったと思うので良かったと思います。(今年度、クラス懇談で発表しました。)
- ・家族と一緒に取り組むことで、より効果が期待できるので特に後半は、小学校に向けて意識したチャレンジができるので、良い機会になったと思う。
- ・継続することが大切だと思いますので、引き続き取り組んでほしいです。親子で楽しくチャレンジに取り組めるように保護者・園児に周知していきたいと思います。
- ・保護者の方が子育てが”楽しい”と感じられるような取り組みの推進をしていくことが必要と感じています。園でも子どもたちと過ごすかけがえのない時間の大切さを保護者と共有していきたいです。

☆ 次年度の取組みに向けて ☆

- ・“家族で”チャレンジするということが、子どもだけでなく、親子・家族で生活習慣を見直したり、親子の触れ合いの時間を増やしたりするきっかけとなっている。
- ・年間2回のチャレンジに取り組むことで、チャレンジへの意欲の高まりとともに、就学へ向けての意識の向上がみられる。
- ・家庭での取り組みではあるものの、取り組みで自信をつけた子どもの姿が園での生活にも表れている。園との連携を図りながら、次年度も取り組みを継続していく。